

備前市施策評価シート

(平成21年度事業)

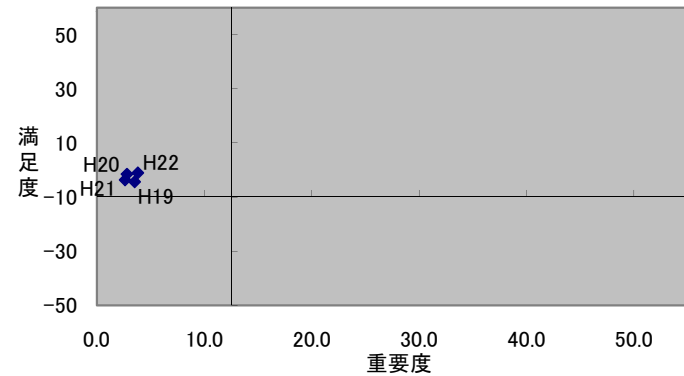
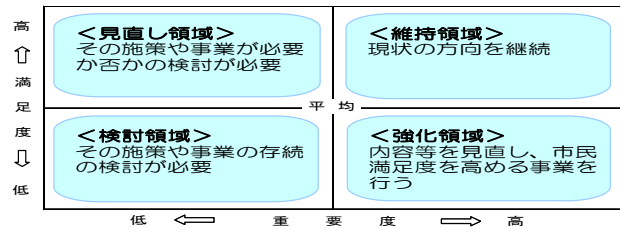
施策名 (小項目)	男女共同参画社会の形成	コード	作成者	役職	まちづくり推進課長
		05-02-02		氏名	岩崎 透
				電話	64-1823
				このシート作成に要した時間	3.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	住民主体の協働のまちづくり
	基本施策(中項目)	ふれあい豊かなまちづくり
① 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民、事業者、行政に対し、男女がより一層対等なまちづくりをすすめるため、男女共同参画に対する意識の高揚を図る。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	憲法において個人の尊重と法の下での平等がうたわれながら、社会的につくりあげられた性別の意識や性別による役割分担が広く存在することから、性別にかかわらず個性と能力が充分発揮される男女共同参画社会の形成が重要である	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集及び調査研究 広報啓発 積極的改善措置 推進体制の整備 市民及び事業者に対する支援 苦情及び相談への対応 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	3.5	2.8	2.6	3.8
満足度(%)	-4.4	-1.5	-3.7	-1.1



調査結果に対するコメント、市民の反応等	男女共同参画社会の形成を目指し、法に基づき条例を制定し各種の施策を展開しているが、市民は男女共同参画が重要であるという意識に欠け、満足度においても非常に低い。特に60歳以上の世代においては男女共同参画を意識はしているが、社会的につくりあげられた習慣の改善に対し、かなりの抵抗が見られる。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H19	H20	H21		H22	H28
成果指標 きらめきフェスタ参加者数	目標	人	790	790	790	H22	790
	実績	人	740	900	550	H23	790
	達成率	%	93.7	113.9	69.6	H28	1,000
	ベンチマーク						
参考指標① 各種審議会等委員への女性の登用率	目標	%	30.0	30.0	30.0	H22	30.0
	実績	%	26.3	25.4	26.5	H23	30.0
	達成率	%	87.7	84.7	88.3	H28	40.0
	ベンチマーク		30.0	30.0			
参考指標② 交流サロン登録団体及び利用者数	目標	人	2,300	2,300	2,800	H22	2,800
	実績	人	1,890	1,970	1,716	H23	2,800
	達成率	%	82.2	85.7	61.3	H28	3,000
	ベンチマーク						
参考指標③ 地域や職場で男女が対等に活躍できると感じている市民の割合	目標	%	20.0	20.0	20.0	H22	20.0
	実績	%	18.2	17.6	16.5	H23	20.0
	達成率	%	91.0	88.0	82.5	H28	30.0
	ベンチマーク						

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への貢献度 ☆☆☆☆~☆	経費の性質 義務的 経常的 その他	
				平成19年度			平成20年度			平成21年度					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 男女共同参画啓発事業	B	男女共同参画啓発事業	補助	443	2,494	0.26	310	2,919	0.29	346	2,075	0.21	☆☆☆	経常的	
		啓発標語募集事業	補助	3	486	0.05	0	299	0.03	0	175	0.02	☆☆	人件費のみ	
		きらめきフェスタ事業	補助	838	1,445	0.15	744	1,882	0.20	565	1,820	0.20	☆☆☆☆	その他	
		ウィズびぜん運営事業	内部管理	68	1,969	0.20	31	2,176	0.22	27	1,902	0.19	☆☆☆☆	経常的	
		日本女性会議参加負担金	単市	35	400	0.04	45	199	0.02	24	100	0.01	☆☆☆	経常的	
2 男女共同参画推進事業	B	男女共同参画推進事業	単市	11	208	0.16	13	2,751	0.27	3	3,596	0.36	☆☆☆	経常的	
		男女共同参画基本計画策定事業	法定	0	1,609	0.02	0	399	0.04	0	76	0.01	☆☆	人件費のみ	
		市男女共同参画推進委員	単市	48	983	0.10	40	1,478	0.15	47	1,580	0.16	☆☆☆☆	経常的	
		市男女共同参画推進審議会	単市	133	1,191	0.12	158	598	0.06	152	878	0.09	☆☆☆☆	経常的	
		市男女共同参画推進連絡会	内部管理	0	383	0.04	0	199	0.02	0	199	0.02	☆☆	人件費のみ	
		県都市男女共同参画推進会議負担金	単市	0	100	0.01									H19終了
		積極的改善措置	単市	0	300	0.03	0	399	0.04	0	99	0.01	☆☆☆☆	人件費のみ	
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成19年度			平成20年度			平成21年度					
				1,579	11,568	1.18	1,341	13,299	1.34	1,164	12,500	1.28			

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
各種審議会等事務局	審議会等委員への女性の登用を30%以上	審議会等委員へ女性を多く登用することにより男女共同参画社会の推進が図られる。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	きらめきフェスタの参加人数や各種審議会等委員の女性の登用率の増加は、男女共同参画社会の進捗を測る上で、妥当である。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	関係団体や各種審議会等の協力を得ながら、各種事業を推進しており、事業構成は適している。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	施策成果指標の達成率は低下している項目が多いが、引き続き男女共同参画事業を推進し、目標を達成できるよう努める必要がある。	
本年度(H22年度)取組内容(課題解決状況)		各種審議会等委員への女性の登用率が目標を下回っているため、関係課へ女性の登用を促していく必要がある。	
翌年度(H23年度)取組目標		各種審議会等委員への女性の登用を関係課へ促し、登用率の向上に努める。また、きらめきフェスタへの参加者を増やすため、各種団体と知恵を出し合いながら、魅力あるイベントとなるよう努める。	
二次評価者コメント		役職 市民生活部長 氏名 野上 茂之 男女共同参画の基本は、市民一人ひとりの意識改革である。今後とも関係機関との連携を深めるとともに、啓発活動を中心に事業実施することが必要である。	
		基本施策への貢献度 3 中立	